

# 対話データ用節単位認定拡張マニュアル

高梨 克也 杉山 さやか 志築 諒太郎

対話データに対して節単位情報を付与するにあたり、従来の基準（高梨他2004，丸山他2006）を対話用に拡張した。本文書では、①対話用に新規に追加した義務的コメント2種（「あいづち」「末尾省略」と）、②既存の義務的コメントに関する認定基準の追加について解説する。

## ① 対話用に新規に追加された義務的コメントと操作

### ■ あいづち

ある発話者による一まとまりの発話の途中に、別の発話者による応答系・感情表出系感動詞、またはフィラーが現れた場合には、義務的コメントとして「あいづち」を付し、その直後で発話を分割する。

**形式：** ある話者の一まとまりの発話の間に独立して現れる別の話者による応答系・感情表出系感動詞、またはフィラー。

**意味：** 相手の発話に対するあいづちを表す。

102.6 108.1 R: 何かウイークリーマンションを(F あー)(D ね)駅から十分ぐらいのところに借りて /テ節/ 104.0 104.6 L: (F はー) -;あいづち 108.7 114.2 R: でも目の前が何かおっきなスーパーがあるようなところだったんで /理由節ノデ/ 113.0 113.6 L: (F うーん) -;あいづち 114.8 118.6 R: でそこで(F あーのー)食べ物を買って /テ節/ 119.5 122.2 R: んで電子レンジでちんしてっていう感じ -;体言止 120.7 121.3 L: (F へー) -;あいづち (ID: D01F0002)
--

161.7 167.9 R: 結局やめた方は(D い)一人いたかなっていうぐらいだったと思います [文末] 166.9 168.5 L: (F うーん) -;あいづち ←感動詞によるあいづちと語彙的応答の連続 168.5 169.6 L: なるほどね [文末] (ID: D01F0030)
---

623.3 629.8 R: 後は(D い)きっと何か喋ったりする(F あの)喧嘩したりとかねきっとエネルギーを使うことが多いんだと思うな [文末候補] 626.5 626.8 L: (F うん) -;あいづち 627.1 627.8 L: そっちに -;大きい切れ目-係り先なし 628.1 629.5 L: <笑> 629.5 631.4 L: そうかもしれないですね [文末候補] 630.0 630.9 R: (F うん)(F うん) -;あいづち ←複数のあいづちの連続 630.9 631.9 R: 活動的だし /並列節シ/ 632.0 632.3 R: (F うん) -;あいづち 632.3 633.6 L: (F ふーん) -;あいづち (ID: D01F0023)
--

## 注意点：

### 1. 感動詞と語彙的応答

- 「なるほど」「そう」「すごい」のような語彙的な応答は、「あいづち」ではなく、「体言止」として処理する。

167.2 169.9 R: (F うん)断われなくて(F はい)(0.279)っていう[文末]

169.5 170.1 L: なるほど-;体言止 (ID: D01F0023)

- ただし、「そうですね」「そうですか」などは、「そう」とは異なり、述語があるため、「体言止」ではなく「文末候補」とする。その際、フィラー文として末尾がデフォルト境界となっている場合は義務的コメントを付与する必要はない。

93.5 101.4 L: もう(1.245)(F あの一)自炊(0.144)自炊とか(F その)食べ物とかそういう

生活をそのまま一か月間移したって感じだったんですか[文末候補]

101.6 102.6 R: そうですね<フィラー文>-;文末候補 (ID: D01F0002)

722.8 724.2 R: 何のギャラだか分からない[文末]

725.3 726.0 L: そうですね/フィラー文/ ←そのまま (ID: D02F0015)

### 2. あいづち的要素の連続

- 「うんうん」のように「あいづち」となる感動詞が複数連続している場合は、それぞれを個別に切り離さず、全体で一つにまとめる。

10.2 13.9 L: わりところ最近(0.192)<FV>若いうちにいっぱい色んなところ行くじゃない

ですか[文末候補]

12.6 13.1 R: (F うん)(F うん)-;あいづち (ID: D01F0023)

- 「なるほどなるほど」のように語彙的応答が複数連続する場合は、原則として、一つ一つを切り離す。ただし例外として、「そうそう」のような「そう」の連続の場合のみ、感動詞に準じ、全体で一つにまとめる。

39.5 45.3 L: じゃ(D と)(0.588)扉を開けたら玄関で(0.559)その横に押し入れがある感じ

ですか[文末候補]

42.4 43.0 R: そうそうそう-;体言止 (ID: D01M0019)

### 3. あいづち的要素と実質的発話の分割

- 「はい分かりました」や「分かりましたはい」のように、発話の冒頭あるいは末尾に同一話者によるあいづち相当表現が連続して出現する場合、「はい」「分かりました」のように、あいづち相当表現の前後で分割する。

266.2 270.1 R: 私はファゴットっていう楽器(0.299)で(F はい)(0.137)大きい-;言いさし-係り先なし

268.2 270.6 L: (F は一)-;あいづち

270.6 271.9 L: そうですね[文末候補] (ID: D01F0030)

### 4. あいづち相当表現を飛び越す係り受け関係がある場合

- あいづち相当表現を飛び越す係り受け関係（主題や格要素から述語への修飾関係など）がある場合、あいづち相当表現の前後で分割しない。

花子さんは うん 陽気ですね。

太郎の うん お母さんは コンビニで 働いています。

## ■ 末尾省略

聞き手が実際に反応を開始した場合や聞き手が理解できる・反応するだろうと予測した場合などに、話し手が発話を途中の位置で中止し、あとの部分を省略することがある（Clark(1996) (p.239) のいう truncation や fade-out など）。こうした箇所は義務的コメントとして「末尾省略」を付し、その直後で発話を分割する。

**形式：** 発話の最後の述語文節の一部もしくは全体が言わずに省略されたもので、省略された述語（文節の一部）が何であるかを概ね特定できるもの。

**意味：** 主に次の2つの原因で生じる。

1. 発話の後半部分で相手にターンを譲ろう（引き取らせよう）としたか、その時点で相手が実際に引き取り発話を開始した場合。
2. 質問に対する応答や直前発話への同意などの発話において、焦点となる名詞部分などのみを明示的に述べ、直後に続く述語は繰り返しになるので、言わずに省略する場合。

294.6 298.6 R でそれを聞いて(D いえ)(F はい)やめようかとも思ったんですが /並列節ガ/ 295.6 296.3 L 合理的な -;末尾省略 296.5 297.1 L <笑> (ID: D01F0030)
---

11.1 14.6 L いつぐらいからそういったものを作るのが好きだったんですか [文末候補] 15.4 19.4 R (F んーと)(F いや)小さいころから好きでしたね [文末候補] 19.7 21.5 L もう物心付いた頃から -;末尾省略 20.1 20.4 R (F ええ) -;あいづち (ID: D01M0009)
---

**注意点：**

1. 「大きい切れ目一係り先なし」との区別
  - 述語文節（の一部）だけが省略されたものを「末尾省略」、後続節全体が省略されたものを「大きい切れ目一係り先なし」する。
  - 後者は、並列節構造の文において、先行節だけを明示的に述べ、後続節全体を引き取らせようとしている場合に相当する。このうち先行節が弱境界の場合、「大きい切れ目一係り先なし」として切断する。

461.8 464.8 R こう(D い(? くす))何か(F うん)吹っ掛けて行って<テ節> - ;大きい切れ目一係り先なし 462.6 463.5 L 凄いね -;体言止 465.1 466.3 R (F ほー)と思って <テ節> -;大きい切れ目一係り先なし 466.6 466.8 R (F うん) -;あいづち 466.6 467.9 L 凄い +;倒置-つなぎ切り それは -;倒置-つなぎ切り (ID: D01F0023)
--

2. 体言止との区別

- 質問発話で、末尾が主に上昇調の名詞などになっている場合には、直後に「ですか」などが省略されていると見なせることも多いが、原則として「末尾省略」ではなく「体言止」とする。

21.7 26.1 R: 幼稚園の頃は(F その一)泥団子とか(D (? あい))(0.167)一生懸命作ってました[文末]	
25.9 26.5 L: 何団子-; <b>体言止</b>	
26.6 26.7 R: (F あ)-;あいづち	
26.7 27.6 R: 泥団子です[文末]	(ID: D01M0009)

## ② 既存の義務的コメントについての認定基準の追加など

### ■ 「大きい切れ目」と「言いさし」の使い分けについて

原則として、「大きい切れ目」は節末などの統語的な境界で、「言いさし」は節や語の途中などで、それぞれ適用されるが、特に対話ではこの区別は必ずしも明確でない。そこで、より語用論的観点から、両者の区別については次の点も考慮する。

- ・ 談話の中で、その部分を「言われなかった」ことにして扱っても問題がないと思われる場合には、「言いさし」とする。

193.1 198.4 L: 金属探知機って(F あの)(D ゆ)(0.522)(F あのー)どんな形(1.57)でしたっけ[文末候補]	
197.8 199.2 R: (F えっとー)-;あいづち	
200.4 200.7 R: (F あのー)-;あいづち	
200.7 202.4 R: (D2 お)(D ぼ)お盆みたいなのが-;末尾省略	
200.4 201.2 L: 実際に今-; <b>言いさし-係り先なし</b>	
202.8 205.3 L: こう下にういんて行くやつですよね[文末候補]	(ID: D01M0009)

- ・ 逆に、その部分の長さや末尾の形態論的特徴に関わらず、その部分を「言われたもの」として扱う必要があると考えられる場合には、「大きい切れ目」とする。

31.1 35.4 R: 私は(0.27)結局後にも先にもあの中国にしか行ってなくて<テ節>- <b>;大きい切れ目-係り先なし</b>	
35.1 35.3 L: (F あ)-;あいづち	
35.5 36.2 L: そうなんだ[文末]	(ID: D01F0023)

### 【参考文献】

Clark, H. H. (1996) Using Language. Cambridge University Press.

丸山岳彦・高梨克也・内元清貴(2006)「節単位情報」. 『日本語話し言葉コーパスの構築法』. 国立国語研究所報告124. 255-322

[http://www.ninjal.ac.jp/corpus\\_center/csj/k-report-f/05.pdf](http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/csj/k-report-f/05.pdf)

高梨克也・内元清貴・丸山岳彦(2004)「『日本語話し言葉コーパス』における節単位認定」. 『日本語話し言葉コーパス』同梱マニュアル (国立国語研究所・情報通信研究機構)

[http://www.ninjal.ac.jp/corpus\\_center/csj/manu-f/clause.pdf](http://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/csj/manu-f/clause.pdf)